

国内製造の新型コロナウイルスワクチンによる国際貢献について

- 2021年6月に開催されたCOVAXワクチン・サミットにおいて、日本政府は、環境が整えば、しかるべき時期に、日本国内で製造するワクチンを、3,000万回分を目途として、COVAXファシリティ等を通じて各国・地域に供給していく考えを示した。
- 引き続き、国民の皆様に対する確実なワクチン供給に向けた様々な取組を進めるとともに、国際社会の新型コロナウイルス感染症との戦いにも貢献できるよう、政府方針に沿って、国内製造の新型コロナウイルスワクチンによる国際貢献に協力していく。

これまで供与を行った国または地域

台湾への供与（令和3年6月4日）

- 我が国で製造したアストラゼネカ社製ワクチンについて、124万回分を無償で提供。

ベトナム社会主義共和国への供与（令和3年6月16日）

- 我が国で製造したアストラゼネカ社製ワクチンについて、約100万回分を無償で提供。